

その他の主な議案

平成29年度一般会計 補正予算(第6号)

本補正予算は、平成29年度の終盤に当たる補正予算として、歳入、歳出ともに過不足の調整、計数の整理等を行い、今回の補正に伴う余剰財源を活用し基金残高の回復を図ることが主な内容です。

予算規模としては歳入歳出をそれぞれ3億2千8百28万3千円減額し、総額を6百32億6千9百62万8千円とします。

主な財源構成として、税運動交付金について今後の交付見込みをもとに増額するほか、事業費の増減に伴い、国及び都支出金並びに市債を補正するとともに、資源回収品の売り払い、湖南衛生組合の土地の処分に伴う組織市への配当金及び寄附金等を増額します。

今回の補正に伴い確保される財源は、平成30年度の当初予算を見据えて、財政調整基金等の基金残高の回復に活用します。

付金の仕組みを導入する平成30年度国民健康保険制度改革に伴う対応を行うとともに、平成30年度分の国民健康保険税から適用する税率の改定を行うため改正するものです。

主な内容は、市が徴収した国民健康保険税を国民健康保険事業費納付金の納付に充てるよう改正するものです。また、税率の改定では、医療保険分、後期

高齢者支援金及び介護保険分について、所得割額及び均等割額の税率をそれぞれ改正するものです。

施行期日は、平成30年4月1日です。

議会人事

東京都十一市競輪事業組合議会議員・東京都四市競艇事業組合議会議員

小野 高一議員
津本 裕子議員

特別委員会中間報告

3月定例会初日に各委員長から報告した特別委員会の経過の概要は次のとおりです。

広聴広報特別委員会 (中間報告その3) 委員長 永田 政弘

開催日 平成29年6月6日、平成30年1月17日(合計5回)

○主な内容

- ・小川駅西口地区再開発事業の進捗状況について
- ・近隣市視察(府中市)
- ・小平駅北口地区再開発事業の進捗状況について 外

公共施設マネジメント 調査特別委員会 委員長 平野ひろみ

開催日 平成29年6月6日、平成30年1月18日(合計5回)

○主な内容

- ・平成29年6月6日に設置されて以来、付議事項について調査を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

都市基盤整備 調査特別委員会 委員長 幸田 昌之

開催日 平成29年6月6日に設置されて以来、付議事項について調査を行ってきました。経過の概要は次のとおりです。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

本条例は、都道府県単位の財政運営として、国民健康保険事業費納付金及び保険給付費等交

代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。

本市議会では、年に1回、3月定例会2日目に行っています。質問時間は会派の所属議員数に応じて決まっております。市長または教育長が答弁します。

今回は、5会派から13件の質問があり、紙面にはその答弁の要旨を掲載しました。

市議会公明党 幸田昌之議員

東京一活カあふれるまち
こだいらを目指して

議員 2025年問題を踏まえ地域包括ケアシステム構築への取り組みをどう進めていくのか。

市長 地域で活動する人材の育成を進めていくが、地域や関係機関、行政等が丸となり取り組みることが大切と考えている。

東京一子育てしたいまち
こだいらを目指して

議員 子どもたちの居場所となる児童館・子ども広場も小学校区単位で設置すべきだが見解は。

市長 財政面での課題、将来の人口推移、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、どう工夫できるか引き続き研究していく。

東京一美しいまち
こだいらを目指して

議員 市のグランドデザインをより明確にして市の魅力を内外へアピールすべきだが見解は。

市長 次期長期総合計画の中で、新しい時代の局面を見据えた新たな将来都市像を示さなければならぬと考えている。

教育改革への挑戦、新しい教育の実現のために

議員 国や都の支援策を活用し、チーム学校を構築し、いじめ、

政和会 宮寺賢一議員

社会の変化と最適な予算配分のあり方について

議員 平成30年度予算編成上、工夫した点は。

市長 新規事業等でスクラップアンドビルドを求めたほか、経常費にマイナスイリテックを設定し歳出抑制を図るなどした。

施政方針と次期長期総合計画等について

議員 次期長期総合計画の将来都市像をどう描いているか。

市長 都市の利便性と緑等が多く残るくろぎ空間という両面を持つプチ田舎としての魅力に磨きをかけている。

生活者ネットワーク かつ悦子議員

将来を見据えたまちづくりについて

議員 ①将来を見据えたまちづくりについてのビジョンは。

②プチ田舎を実現するため緑のグランドデザインを策定する必要があるが見解は。

市長 ①人口減少時代に適応した次なる豊かさを目指した取り組みを進めることで、市民一人一人が地域で役割を持ちその能力が生かされる町を目指したい。

②みどりの基本計画2010の中で地区別計画を作成しており、これに基づき現在の緑被率を維持する取り組みを進めていく。

フォーラム小平 小林洋子議員

平成30年度予算編成の考え方と市政運営について

議員 ①東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成について子どもだけでなく学生や大人も盛り上げていく取り組みは。

②家庭ごみ有料化と戸別収集への移行実施計画をどのように進め市民理解を深めていくのか。

市長 ①引き続きスポーツボランティアの発掘・育成事業を行うほか、市報のオリパラ特集号発行等で機運醸成を図っていく。

②今後も出前講座等を積極的に行っていくほか、平成30年度はごみの出し方等についての市民説明会を開催し、丁寧かつきめ細やかに市民に説明していく。

小平市の教育への取り組みについて

議員 ①小・中連携教育に対する取り組みは。

②不登校に対する取り組みは。

日本共産党小平市議団 吉瀬恵美子議員

平成30年度(2018年度)予算編成における方針を問う

議員 ①国民の格差と貧困が広がる中で、市民の置かれた状況をどのように認識しているか。

②生活保護基準引き下げに連動し市民が影響を受ける項目は。

③家庭ごみ有料化と戸別収集は5千万円程赤字になると聞いていますが、事業費見込みは。また、赤字になってもやる理由は。市長 ①高齢化等が進み社会状況が変化の中で、ひきこもりや介護と育児のダブルケアなど、複雑化、多様化した課題が生じてきていると受けとめている。

②生活扶助基準の見直し内容が不明であり、把握は困難だが、

関する研修等を引き続き行い働き方改革実現に取り組んでいく。

新年度予算は教員の勤務実態と教育への情熱にどう対応したか

議員 学校での働き方改革のための環境整備に関する方策は。

教育長 夏期休業期間中に学校閉庁日を設定し、休暇取得促進を図るなど、教員の業務負担の軽減に取り組んでいく。

市のエネルギー施策の展開に地産地消の考えを

議員 ①市は太陽光発電日本一を目指しているが今後の展開は。

②地域でのエネルギーの地産地消は経済的に有効だが見解は。

市長 ①市民共同発電所の取り組みを市民や事業者等と一体となつて進めるなどしていく。また、講座開催等により市民の認識と理解が深まるよう取り組んでいく。

②市内でつくり出した電力を市内に供給し経済的に循環させるには課題も多い。今後も先行自治体の事例等を研究していく。

国は直接影響を受ける制度の趣旨等を十分考慮し、できる限り影響が及ばないよう対応することを基本的な考え方とするとしているので動向を注視していく。

③収集地区割りの見直し等により収入と支出の差はかなり圧縮できる見込みである。戸別収集を家庭ごみ有料化と合わせて行うことでより一層のごみ減量効果が得られ、排出者の明確化によるごみ出しマナー向上や集積所管理にかかわる地域の負担軽減等につながると考えている。

※1、※2、※3 用語の解説については7面をご覧ください。